

# 平成25年度 新発田市理科部 活動報告

部長 渡邊 幸太（住吉小）

## 1 研究主題

子どもが生き生きと主体的に学ぶ理科授業

## 2 研究の概要

- 4月 第1回理科部会 理科部研究計画の検討
  - ・役割分担
  - ・研究テーマ，活動計画，授業者決定
- 5月 第2回理科部会 講話・実技研修
  - ・講師：星野 勝紀 様（三市北蒲原郡地区理科教育センター所員）
  - ・内容：第3学年「風のはたらき」
  - ・会場：三市北蒲原郡地区理科教育センター
- 11月 第3回理科部会 研究授業
  - ・指導者：阿部 英幸 様（新発田市立猿橋小学校）
  - ・授業者：五十嵐 敦志（新発田市立東豊小学校）
  - ・単 元：第3学年「風のはたらき」
  - ・会 場：新発田市立東豊小学校

## 3 研究の実際（研究授業）

第2回理科部会で、講話・実技研修をした単元で授業実践をした。研究授業での主な提案は「問題解決的な学習過程を組むことで、生き生きとした学びを生み出す」であり、本時は、「風車の実験を通して、羽根の枚数や長さ、物を持ち上げる力との関係をまとめる」ことをねらいとした単元の終末の授業であった。導入の演示実験で、「風車の羽根の長さを変えると、物を持ち上げる力はどうなるだろうか」という課題を提示した。子どもたちは羽根の面の広さと風の強さとの関係に問題を持ち、既習内容を基にして予想をした。実験では、グループ内で分担しながら意欲的に追究していた。クラス全体で結果を確かめた後、結論を、問題に立ち返りながら、つなぎ言葉（～ということは・・・）を使ってまとめることができた。



## 4 成果と課題

### ○成果

第2回部会で理科センターの先生から研究授業単元について教えていただいた。指導のポイントや教材の工夫について事前に研修することで、授業者は授業づくりに役立てることができた。研究授業では、課題に対して生き生きと主体的に追究する姿が見られた。また、結論の書き方の型を示したことで、科学的な思考力・表現力の育成がされていた。

### ○課題

それぞれの部員が、理科の授業で活用できる充実した活動ができたが、部会の回数がきざられているため、部員全員での指導案検討ができなかったことが課題である。限られた回数の中で指導案検討会を行い、活動をさらに充実させることで研究がより深まると考える。